

東京エレクトロンのあゆみ

東京エレクトロンは、半導体製造装置分野を中心に、時代を読み新しい技術や概念を取り入れて進化し続けています。

創業の時代

- 1963 (株)東京エレクトロン研究所(以下TEL)を
資本金 500 万円で設立登記
- 1964 TELの半導体製造装置輸入業務の
第一歩となる、サムコム社製拡散
炉の輸入販売開始 
- 1965 米国フェアチャイルド社とICテスト代理店契約
- 1967 パネトロン(株)を設立し、フェアチャイルド社製ICの
ストック販売を日本ではじめてスタート

ビジネスの大転換

- 1968 サムコム社との合併会社テル・サムコム(株)を設立、
拡散炉の国内生産を開始
- 1972 東京プロセス開発(株)を設立、分析機器の輸入、販売
を開始。本社を新宿明宝ビルに移転
- 1975 当時売上の6割を占めていたカーラジオ、電卓などの
民生用電子機器の生産と輸出から撤退
- 1976 テル・サムコム(株)世界初の
高圧酸化装置を開発 

メーカー機能を強化

- 1978 社名を「(株)東京エレクトロン研究所」から
「東京エレクトロン(株)」へ変更
- 1980 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1981 テル・ジェンラッド(株)を設立、インサーキットボード
テスト(回路基板検査装置)を国産化
- 1983 米国ラム・リサーチ社との合併会社テル・ラム(株)を
設立し、エッチング装置の国産化をスタート
- 1984 東京証券取引所市場第一部に上場
- 1986 山梨に総合研究所社屋が完成 

自社生産の拡大

- 1988 テル・サムコム(株)の株のうち、サムコム社の出資分
を買い取り、100%子会社とする
- 1989 コータ/デベロッパ
「CLEAN TRACK MARK-V」
出荷 
- 1990 液晶ディスプレイ製造装置市場へ本格的に参入

グローバル化の時代

- 1993 Tokyo Electron FE Korea Ltd.
(現・Tokyo Electron Korea Ltd.)を設立
- 1994 Tokyo Electron Europe Ltd.を設立
標準環境安全センター(現 環境安全推進センター)設置
- 1996 Tokyo Electron America, Inc. 新本社ビル/
トレーニングセンターが完成 

- 1997 相模事業所 ISO14001 認証取得
(以降、各工場において認証取得)
- 1999 東京証券取引所「第4回ディスクロージャー優良企業」
に選定

- 2000 故井上皓会長の半導体業界に
おける環境対策活動への功績を
称え、業界の世界的団体である
SEMIにより「SEMI井上皓賞」
が新設 



東京エレクトロングループ
「環境報告書」発行開始

- 2001 新コーポレートメッセージ
「PEOPLE. TECHNOLOGY. COMMITMENT.」を制定

新たなる時代への挑戦

- 2003 「大口径・高密度プラズマ処理
装置の開発」での産学官連携に
対して、内閣総理大臣賞を受賞 

- 2005 第10回ディスクロージャー表彰受賞
(1999年に続き2度目)

- 2006 「TEL バリュー」を制定 

- 2007 人材育成の社内機関として「TEL UNIVERSITY」を設立
- 2009 エリコン・ソーラー社と提携し、アジア、オセアニア地域
での太陽電池製造装置の販売代理店契約を締結